

ARIB TR-T4

Sバンドを用いる国内移動衛星通信システム

移動機の接続性確認に係る  
試験項目・試験条件

TEST ITEMS AND CONDITIONS FOR MOBILE STATION  
COMPATIBILITY CONFIRMATION

技 術 資 料

TECHNICAL REPORT

ARIB TR-T4 2.0版

平成 8年 4月 9日 策 定  
平成12年 3月 2日 2.0改定

社団法人 電 波 産 業 会  
Association of Radio Industries and Businesses



## まえがき

財団法人電波産業会は、無線機器製造者、電気通信事業者及び利用者の参加を得て、各種の電波利用システムに関する無線設備の標準的な仕様等の基本的な要件を「標準規格」又は「技術資料」として策定している。

技術資料は、国の技術基準と民間の任意基準をとりまとめた標準規格を踏まえて、無線設備の適正品質、互換性の確保等を図るため、当該無線設備に関する測定法、試験法等を民間の規格として具体的に定めたものである。

本技術資料は、「Sバンドを用いた国内移動衛星通信システムの移動機の接続性確認に係る試験項目・試験条件」について策定したもので、策定段階における公正性及び透明性を確保するため、内外無差別に広く無線機器製造者、電気通信事業者、利用者等の利害関係者の参加を得た当会の規格委員会の総意により策定されたものである。

本技術資料で規定されている範囲は、移動機が電気通信事業者のネットワークと接続性を確保するための基本的事項について定めたものであるが、本技術資料の実際の利用にあたっては、Sバンドを用いた国内移動衛星通信システムの電気通信事業者等が、本技術資料を逸脱することなく独自に定めることが可能な運用上の設定値等を併せて利用することが必要である。

本技術資料が、無線機器製造者、電気通信事業者、利用者等に積極的に活用されることを希望する。



## 目 次

## まえがき

第1章 一般事項	1
1.1 概要	1
1.2 試験区分	1
第2章 接続試験器による試験	2
2.1 試験の目的	2
2.2 試験構成	2
2.3 試験項目・試験条件の詳細	3
2.3.1 試験項目一覧	3
2.3.2 試験内容	4
2.3.2.1 位置登録動作試験	4
2.3.2.2 発呼動作試験	5
2.3.2.3 着呼動作試験	6
2.3.2.4 終話動作試験	7
2.3.2.5 通話中動作試験	8
2.3.2.6 送信電力制御試験	9
2.3.2.7 規制制御動作試験	11
2.3.2.8 パケット発信動作試験	16
2.3.2.9 パケット着信動作試験	16
2.3.2.10 パケット通信終了動作試験	17
2.3.2.11 パケット通信中動作試験	17
2.3.2.12 パケット規制動作試験	18
第3章 ネットワーク接続性確認試験	20
3.1 試験の目的	20
3.2 試験構成	20
3.3 ネットワーク接続性確認試験の実施	20
3.4 試験項目・試験条件の詳細	21
3.4.1 試験項目一覧	21
3.4.2 試験内容	21
3.4.2.1 位置登録動作試験	21

3.4.2.2	発呼動作試験	22
3.4.2.3	着呼動作試験	22
3.4.2.4	終話動作試験	23
3.4.2.5	パケット発信動作試験	23
3.4.2.6	パケット着信動作試験	24
3.4.2.7	パケット通信終了動作試験	24

添付資料

2.0 版改定履歴

## 第1章 一般事項

### 1.1 概要

「端末設備としての移動機」（以下「移動局」という。）の接続性確認に係る試験は、「Sバンドを用いた国内移動衛星通信システム標準規格 ARIB STD-T49」に規定する無線区間インタフェースに対する適合試験と位置付け、同標準規格に定める基本機能及び標準化されたオプションの範囲内で型式ごとに行うものである。

試験の実施に先立って、同標準規格に基づく動作は、開発又は製造の過程において、移動局の製造業者の責任で全て確認が行われていることが前提である。

試験は、一般的な試験環境で実施できるものとし、環境設定や移動局への機能付与のために電気通信事業者又は製造業者に特別の負担を課すものではない。

### 1.2 試験区分

接続性確認に係る試験は、接続試験器による試験とネットワーク接続性確認試験の二つがあり、試験の実施主体は移動局の製造業者である。

接続試験器による試験は、接続試験器を使用して行う試験であり、同試験に係る試験項目・試験条件に基づき実施する。

ネットワーク接続性確認試験は、接続試験器による試験を終了した移動局を実際のネットワークに接続して行う試験であり、同試験に係る試験項目・試験条件に基づき実施する。

## 第 2 章 接続試験器による試験

### 2.1 試験の目的

接続試験器による試験は、移動局の製造業者が製造した移動局が「Sバンドを用いた国内移動衛星通信システム標準規格 ARIB STD-T49」の規定を満足していることを接続試験器を用いて確認するものである。

### 2.2 試験構成

接続試験器による試験の構成例を図 2.1 に示す。

接続試験器は、一般的には基地局シミュレータと呼ばれる機器で、移動局との間で送受信を行うという基本的機能を疑似的に実現する機能を有するものであるが、本技術資料では、当該機器の具体的な型式等は特定せず、機能を実現可能な機器という定義にとどめる。

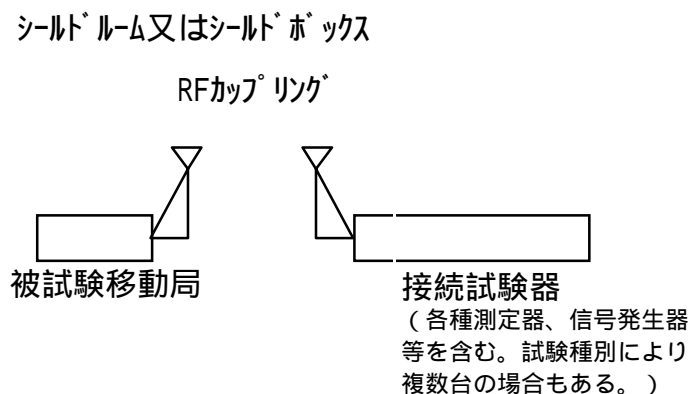


図 2.1 接続試験器による試験の構成例

## 2.3 試験項目・試験条件の詳細

## 2.3.1 試験項目一覧

接続試験器による試験の試験項目は次の通りとする。

試験番号	試験項目
1 - 1	位置登録動作試験
1 - 1 - 1	位置登録
1 - 1 - 2	位置登録拒否
1 - 2	発呼動作試験
1 - 2 - 1	移動局発信 - 通話
1 - 2 - 2	移動局発信 - 移動局終話
1 - 2 - 3	移動局発信 - 移動局解放メッセージ受信
1 - 2 - 4	移動局発信 - 無線チャネル指定前の切断メッセージ受信
1 - 2 - 5	移動局発信 - 相手呼び出し中の無線チャネル切断メッセージ受信
1 - 3	着呼動作試験
1 - 3 - 1	移動局着信 - 通話
1 - 3 - 2	移動局着信 - 発呼者終話
1 - 3 - 3	移動局着信 - 移動局解放メッセージ受信
1 - 3 - 4	移動局着信 - 呼び出し中の無線チャネル切断メッセージ受信
1 - 4	終話動作試験
1 - 4 - 1	通話 - 移動局終話
1 - 4 - 2	通話 - 網側終話
1 - 4 - 3	上り VOX - 無音期間中移動局終話
1 - 4 - 4	下り VOX - 無音期間中網側終話
1 - 4 - 5	スケルチ終話
1 - 4 - 6	電源オフ終話
1 - 4 - 7	移動局バッテリー能力低下 - 終話
1 - 5	通話中動作試験
1 - 5 - 1	ハンドオーバ
1 - 5 - 2	移動局発信 - 通話中の無線チャネル切断メッセージ受信
1 - 5 - 3	通信同期外れ - 再同期確立
1 - 5 - 4	連続通話試験 (注 1)
1 - 5 - 5	下り VOX - 無音期間中同期維持
1 - 6	送信電力制御
1 - 6 - 1	送信電力制御 (報知情報: 移動局送信電力指定)
1 - 6 - 2	送信電力制御 (無線チャネル指定: 移動局送信電力指定)
1 - 6 - 3	送信電力制御 (通話中)
1 - 6 - 4	送信電力制御 (ハンドオーバ)
1 - 7	規制動作試験
1 - 7 - 1	保守規制
1 - 7 - 2	一般移動局アクセス群規制 (移動局種別指定有り、位置登録)
1 - 7 - 3	一般移動局アクセス群規制 (移動局種別指定有り、発信)
1 - 7 - 4	優先移動局アクセス規制 (移動局種別指定有り、位置登録)
1 - 7 - 5	優先移動局アクセス規制 (移動局種別指定有り、発信)
1 - 7 - 6	一般移動局アクセス群規制 (移動局種別指定無し、位置登録)
1 - 7 - 7	一般移動局アクセス群規制 (移動局種別指定無し、発信)
1 - 7 - 8	優先移動局アクセス規制 (移動局種別指定無し、位置登録)
1 - 7 - 9	優先移動局アクセス規制 (移動局種別指定無し、発信)
1 - 7 - 10	自ゾーンアクセス規制
1 - 7 - 11	アクセス周期規制 (位置登録)
1 - 7 - 12	アクセス周期規制 (発信)

試験番号	試験項目
1 - 8	パケット発信動作試験
1 - 8 - 1	移動局発信 パケット通信登録
1 - 8 - 2	移動局発信 パケット通信登録解除
1 - 8 - 3	移動局発信 パケット通信登録拒否メッセージ受信
1 - 9	パケット着信動作試験
1 - 9 - 1	移動局着信 パケット通信登録
1 - 9 - 2	移動局着信 パケット通信登録解除
1 - 9 - 3	移動局着信 パケット通信登録拒否メッセージ受信
1 - 10	パケット通信終了動作試験
1 - 10 - 1	通信 パケット通信登録解除
1 - 10 - 2	通信 パケット通信切断
1 - 11	パケット通信中動作試験
1 - 11 - 1	パケットシステム情報通知メッセージ受信（端末登録エリアコード変更）
1 - 11 - 2	パケットシステム情報通知メッセージ受信（呼出エリアコード変更）
1 - 11 - 3	パケット通信登録状態問い合わせメッセージ受信
1 - 12	パケット規制動作試験
1 - 12 - 1	保守規制
1 - 12 - 2	優先規制
1 - 12 - 3	一般規制

（注1）「端末設備として移動機に求められる技術的条件」の答申により関係省令の整備されるまでは、技術的条件の試験項目・条件が明確にならないため、特に重要と思われる「連続通話試験」を本試験項目に含める。ただし、技術的条件の試験項目・条件が明確にならない限り、本試験項目から削除しないものとする。

（注2）1 - 8以降の試験項目は ARIB STD-T49 2.0 版準拠移動機にのみ適用する。

### 2.3.2 試験内容

接続試験器による試験の内容は次の通りとする。

#### 2.3.2.1 位置登録動作試験

試験項目	1 - 1 - 1 : 位置登録
試験概要	エリア移行に相当する位置番号の変化に応じ、ビーム移行時及び電源投入時の位置登録動作を実行することを確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接続試験器をビーム移行を行う設定とし、位置番号をAに設定する。</li> <li>2. 移動局の電源をオンにする。</li> <li>3. 接続試験器により、位置番号をAから位置番号Bにビーム移行させる。</li> <li>4. 移動局の電源をオフにする。</li> <li>5. 接続試験器の位置番号をAに設定する。</li> <li>6. その状態で移動局の電源をオンにする。</li> </ol>
確認項目	1. 手順3、6において位置登録することを確認する。

試験項目	1 - 1 - 2 : 位置登録拒否
試験概要	移動局が位置登録拒否を受信し、再度位置登録要求を送信しないことを確認する。
試験手順	1 . 移動局の電源をオンにし、位置登録を起動させる。 2 . 接続試験器は認証応答受信後に位置登録拒否を送出する。
確認項目	1 . 移動局が位置登録拒否を受信し、再度位置登録要求を送信しないことを確認する。
備考	1 . 理由表示を移動局異常、位置登録失敗について試験する。

## 2.3.2.2 発呼動作試験

試験項目	1 - 2 - 1 : 移動局発信 - 通話
試験概要	移動局から接続試験器に発信を行ない、通話が行なえることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信用物理チャネルを確立する。
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1 - 2 - 2 : 移動局発信 - 移動局終話
試験概要	移動局から接続試験器に発信を行ない、通話状態に入る前に移動局より終話が行なえることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 無線チャネル指定を受信する前に移動局から終話を行なう。
確認項目	1 . 移動局の発信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 2 - 3 : 移動局発信 - 移動局解放メッセージ受信
試験概要	移動局から接続試験器に発信を行ない、移動局が移動局解放メッセージを受信し、待ち受け状態に戻ることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 接続試験器から無線チャネル指定メッセージ送信前に、移動局解放メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局の発信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 2 - 4 : 移動局発信 - 無線チャネル指定前の切断メッセージ受信
試験概要	移動局から接続試験器に発信する。 接続試験器から無線チャネル指定前に切断メッセージを送信し、移動局の発信動作が終了することを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 接続試験器より、呼設定受付メッセージ送信後、かつ、無線チャネル指定メッセージを送信前に切断メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局の発信動作の終了及びビジートーン（話中音）の発生を確認する。 2 . 待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 2 - 5 : 移動局発信 - 相手呼出中の無線チャンネル切断メッセージ受信
試験概要	移動局から接続試験器に発信する。 相手呼出中に、移動局が無線チャンネル切断メッセージを受信し、移動局の発信動作が終了することを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 相手を呼出中にする。 3 . 接続試験器より無線チャンネル切断メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局の発信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

## 2.3.2.3 着呼動作試験

試験項目	1 - 3 - 1 : 移動局着信 - 通話
試験概要	接続試験器から移動局に着信をかけ、通話が行なえることを確認する。
試験手順	1 . 接続試験器から移動局に着信をかける。 2 . 通信用物理チャンネルを確立する。
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1 - 3 - 2 : 移動局着信 - 発呼者終話
試験概要	接続試験器から移動局に着信をかけ、呼出状態に入る前に発呼者から終話が行なえることを確認する。
試験手順	1 . 接続試験器から移動局に着信をかける。 2 . 接続試験器から無線チャンネル指定を送信する前に終話を行なう。
確認項目	1 . 移動局の着信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 3 - 3 : 移動局着信 - 移動局解放メッセージ受信
試験概要	接続試験器から移動局に着信をかけ、移動局が移動局解放メッセージを受信し、待ち受け状態に戻ることを確認する。
試験手順	1 . 接続試験器から移動局に着信をかける。 2 . 接続試験器から無線チャンネル指定メッセージ送信前に、移動局解放メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局の着信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 3 - 4 : 移動局着信 - 呼出中の無線チャンネル切断メッセージ受信
試験概要	接続試験器から移動局に着信をかける。 移動局が呼出中に無線チャンネル切断メッセージを受信し、移動局が待ち受け状態に戻ることを確認する。
試験手順	1 . 接続試験器から移動局に着信をかける。 2 . 移動局を呼出中にする。 3 . 接続試験器より無線チャンネル切断メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局の着信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

## 2.3.2.4 終話動作試験

試験項目	1 - 4 - 1 : 通話 - 移動局終話
試験概要	通話中に移動局から終話を行なえることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信用物理チャネルを確立する。 3 . 移動局から終話を行なう。
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1 - 4 - 2 : 通話 - 網側終話
試験概要	通話中に接続試験器から終話が行なえることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信用物理チャネルを確立する。 3 . 接続試験器から終話を行なう。 4 . ビジートン（話中音）聴取後、移動局の終話を行なう。
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1 - 4 - 3 : 上り VOX - 無音期間中移動局終話
試験概要	移動局の上り VOX 機能が正常に動作し、無音期間中に移動局から終話できることを確認する。
試験手順	1 . 移動局の上り VOX 機能をオンに設定する。 2 . 移動局から接続試験器に発信する。 3 . 通信用物理チャネルを確立する。 4 . 移動局が無音期間中に終話を行なう。
確認項目	1 . 上り VOX 機能が動作することを確認する。 2 . 無音期間中に移動局から終話が行なえることを確認する。
備考	本試験は上り VOX の機能を有する移動局にのみ適用する。

試験項目	1 - 4 - 4 : 下り VOX - 無音期間中網側終話
試験概要	下り VOX 機能が動作中に、無音期間中に網側から終話できることを確認する。
試験手順	1 . 接続試験器の下り VOX 機能をオンに設定する。 2 . 移動局から接続試験器に発信する。 3 . 通信用物理チャネルを確立する。 4 . 下り無音期間中に接続試験器側から終話を行なう。
確認項目	1 . 下り無音期間中に接続試験器側から終話が行なえることを確認する。

試験項目	1 - 4 - 5 : スケルチ終話
試験概要	移動局が通信中において、下り電波断で待ち受け状態に戻ることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信中物理チャネルを確立する。 3 . 接続試験器の下り電波断にする。
確認項目	1 . 移動局の通話が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 4 - 6 : 電源オフ終話
試験概要	通話中に移動局の電源をオフにし、終話できることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信用物理チャネルを確立する。 3 . 移動局の電源をオフにする。
確認項目	1 . 移動局が終話動作を行なうことを確認する。

試験項目	1 - 4 - 7 : 移動局バッテリー能力低下 - 終話
試験概要	通話中に移動局のバッテリー能力が低下した時に、移動局が終話動作を行なうことを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信用物理チャネルを確立する。 3 . 移動局をバッテリー能力低下状態となる条件に設定する。
確認項目	1 . 移動局が終話動作を行なうことを確認する。

## 2.3.2.5 通話中動作試験

試験項目	1 - 5 - 1 : ハンドオーバー
試験概要	移動局が通話中にハンドオーバーできることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信用物理チャネルを確立する。 3 . 接続試験器より切替先無線チャネル指定を送信し、ハンドオーバーを起動する。
確認項目	1 . 手順3により指定されたチャネルにハンドオーバーすることを確認する。

試験項目	1 - 5 - 2 : 移動局発信 - 通話中の無線チャネル切断メッセージ受信
試験概要	移動局から接続試験器に発信する。 通話確立後、移動局が無線チャネル切断メッセージを受信し、通話が終了することを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信用物理チャネルを確立する。 3 . 接続試験器より無線チャネル切断メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局の通話が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 5 - 3 : 通話中同期外れ - 再同期確立
試験概要	通話中において下りチャネルの同期を外し、再同期確立後再び通話状態となることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器に発信する。 2 . 通信用物理チャネルを確立する。 3 . 約2秒間下り電波断の状態にする。 4 . 再び電波有り状態にする。
確認項目	1 . 手順3において送信が一時停止し、手順4において再び通信用物理チャネルが確立されることを確認する。

試験項目	1 - 5 - 4 : 連続通話試験
試験概要	移動局が連続通話を行なっても、異常動作しないことを確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局の VOX 機能をオフに設定し、移動局から接続試験器に発信する。その時の送信電力は最大とする。</li> <li>2 . 3 時間又は最大通話時間が 3 時間以内に設定されている場合は、その設定時間、通話状態を継続する。</li> <li>3 . 移動局を終話する。</li> </ol>
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1 - 5 - 5 : 下り VOX - 無音期間中同期維持
試験概要	下り VOX 中、無音状態においても移動局が同期外れを起こさないことを確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 接続試験器の下り VOX 機能をオンに設定する。</li> <li>2 . 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>3 . 通話用物理チャネルを確立する。</li> <li>4 . 網側を無音状態にし、1 時間通話状態を継続する。</li> <li>5 . 移動局を終話する。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 上記手順が動作することを確認する。</li> <li>2 . 手順 4 において移動局が同期外れを起こさないことを確認する。</li> </ol>

### 2.3.2.6 送信電力制御試験

試験項目	1 - 6 - 1 : 送信電力制御 (報知情報 : 移動局送信電力指定)
試験概要	報知情報受信後、移動局が共通制御チャネルアクセス中に指定された送信出力の範囲内で送信していることを確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局送信を分波し、一方を接続試験器に、他方を電力測定が可能な系に接続する。</li> <li>2 . 接続試験器の報知情報中の移動局送信電力指定の設定を行なう。</li> <li>3 . 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>4 . 移動局の送信電力を測定する。</li> <li>5 . 移動局最大送信電力の値を最小から最大まで変えて、手順 2 から 4 を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	1 . 移動局送信電力が、報知情報中の最大送信電力指定値の範囲内であることを確認する。
備考	1 . 試験結果の評価は、移動局最大送信電力指定値の変化に応じた移動局の送信電力の変化量で行なう。

試験項目	1 - 6 - 2 : 送信電力制御 (無線チャンネル指定 : 移動局送信電力指定)
試験概要	無線チャンネル指定メッセージを受信し、移動局が初期送信電力と移動局最大送信電力を更新し、移動局が通話チャンネル移行直後に、指定された送信電力の範囲内で送信を行なっていることを確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移動局送信を分波し、一方を接続試験器に、他方を電力測定が可能な系に接続する。</li> <li>2. 接続試験器の無線チャンネル指定メッセージ中の初期送信電力と移動局最大送信電力の値を設定する。</li> <li>3. 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>4. 移動局の通話チャンネル移行後の送信電力を測定する。</li> <li>5. 初期送信電力指定の値を最小から最大まで変えて、手順2から4を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	1. 移動局送信電力が、無線チャンネル指定メッセージ中の初期送信電力指定値の範囲内であることを確認する。

試験項目	1 - 6 - 3 : 送信電力制御 (通話中)
試験概要	移動局が R-CH を受信し、指定された送信電力で送信をすることを確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移動局送信を分波し、一方を接続試験器に、他方を電力測定が可能な系に接続する。</li> <li>2. 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>3. R-CH により送信電力指定を行なう。それぞれの指定時に移動局の送信電力を測定する。</li> <li>4. 送信電力指定の値を最小から最大まで変えて、手順3を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移動局送信電力が、最大送信電力の範囲内で R-CH の指定により制御されることを確認する。</li> <li>2. 移動局の最大送信電力が R-CH 中の最大送信電力値以内であることを確認する。</li> <li>3. VOX 機能を有する移動局は、VOX オン / オフの状態では指定された送信電力で送信をすることを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 6 - 4 : 送信電力制御 (ハンドオーバー)
試験概要	移動局がハンドオーバー後に、初期送信電力と最大送信電力を更新し、指定された送信電力の範囲内で送信を行なっていることを確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移動局送信を分波し、一方を接続試験器に、他方を電力測定が可能な系に接続する。</li> <li>2. 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>3. 切替先無線チャンネル指定メッセージ中の初期送信電力と移動局最大送信電力の値を指定する。</li> <li>4. 切替先無線チャンネル指定メッセージを送信し、移動局をハンドオーバーさせる。</li> <li>5. 移動局の送信電力を測定する。</li> <li>6. R-CH により切替先チャンネルの最大送信電力の値を越える送信電力指定を行なう。</li> <li>7. 送信電力の値を最小から最大まで変えて、手順2から6を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移動局の送信電力が、指定値内であることを確認する。</li> <li>2. 試験手順6において、切替先無線チャンネルの最大送信電力指定の範囲内であることを確認する。</li> </ol>

## 2.3.2.7 規制制御動作試験

試験項目	1 - 7 - 1 : 保守規制
試験概要	一般移動局及び優先移動局に対する保守規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局を一般移動局に設定する。</li> <li>2 . 接続試験器を自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 移動局の電源をオンにし、発信する。</li> <li>4 . 移動局の電源をオフにする。</li> <li>5 . 接続試験器を自ゾーン選択否に設定する。</li> <li>6 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>7 . 移動局を優先移動局に設定し、手順 2 から 6 を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 手順 3 において発信できることを確認する。</li> <li>2 . 手順 6 において待ち受けに入らないことを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 2 : 一般移動局アクセス群規制 ( 移動局種別指定有り、位置登録 )
試験概要	移動局種別指定がある場合の、一般移動局に対するアクセス群規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 報知情報の規制情報を以下の様に設定する。</li> <li>2 . 自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。</li> <li>4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。</li> <li>5 . アクセス周期間隔を規制なしに設定する。</li> <li>6 . 海上一般移動局位置登録否に設定する。</li> <li>7 . 被試験機に対応する群の規制を設定する。</li> <li>8 . 移動局を一般移動局に設定する。</li> <li>9 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>10 . 被試験機に対応する群の規制を解除する。</li> <li>11 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>12 . 手順 6 における海上一般移動局に対する規制を陸上一般移動局に対する規制に変更し、6 から 11 を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致する場合、手順 9 において位置登録しないことを確認する。</li> <li>2 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致する場合においても、手順 11 において位置登録することを確認する。</li> <li>3 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致しない場合、手順 9、11 のいずれにおいても位置登録することを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 3 : 一般移動局アクセス群規制 ( 移動局種別指定有り、発信 )
試験概要	移動局種別指定がある場合の、一般移動局に対するアクセス群規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 報知情報の規制情報を以下の様に設定する。</li> <li>2 . 自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。</li> <li>4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。</li> <li>5 . アクセス周期間隔を規制なしに設定する。</li> <li>6 . 海上一般移動局発信否に設定する。</li> <li>7 . 被試験機に対応する群の規制を設定する。</li> <li>8 . 移動局を一般移動局に設定する。</li> <li>9 . 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>10 . 被試験機に対応する群の規制を解除する。</li> <li>11 . 移動局から発信する。</li> <li>12 . 手順6における海上一般移動局に対する規制を陸上一般移動局に対する規制に変更し、6から11を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致する場合、手順9において発信できないことを確認する。</li> <li>2 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致する場合においても、手順11において発信できることを確認する。</li> <li>3 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致しない場合、手順9、11のいずれにおいても発信できることを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 4 : 優先移動局アクセス規制 ( 移動局種別指定有り、位置登録 )
試験概要	移動局種別指定がある場合の、優先移動局に対するアクセス規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 報知情報の規制情報を以下の様に設定する。</li> <li>2 . 自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。</li> <li>4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。</li> <li>5 . 海上優先移動局位置登録否に設定する。</li> <li>6 . 移動局を優先移動局に設定する。</li> <li>7 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>8 . 海上優先移動局位置登録可に設定する。</li> <li>9 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>10 . 手順5における海上優先移動局に対する規制を陸上優先移動局に対する規制に変更し、5から9を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致する場合、手順7において位置登録しないことを確認する。</li> <li>2 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致する場合においても、手順9において位置登録することを確認する。</li> <li>3 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致しない場合、手順7、9のいずれにおいても位置登録することを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 5 : 優先移動局アクセス規制 (移動局種別指定有り、発信)
試験概要	移動局種別指定がある場合の、優先移動局に対するアクセス規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 報知情報の規制情報を以下の様に設定する。</li> <li>2 . 自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。</li> <li>4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。</li> <li>5 . 海上優先移動局発信否に設定する。</li> <li>6 . 移動局を優先移動局に設定する。</li> <li>7 . 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>8 . 海上優先移動局発信可に設定する。</li> <li>9 . 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>10 . 手順5における海上優先移動局に対する規制を陸上優先移動局に対する規制に変更し、5から9を繰り返す。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致する場合、手順7において発信できないことを確認する。</li> <li>2 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致する場合においても、手順9において発信できることを確認する。</li> <li>3 . 被試験移動局と規制移動局種別が一致しない場合、手順7、9のいずれにおいても発信できることを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 6 : 一般移動局アクセス群規制 (移動局種別指定無し、位置登録)
試験概要	移動局種別指定が無い場合の、一般移動局に対するアクセス群規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 報知情報の規制情報を以下の様に設定する。</li> <li>2 . 自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。</li> <li>4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。</li> <li>5 . アクセス周期間隔を規制なしに設定する。</li> <li>6 . 一般移動局位置登録否に設定する。</li> <li>7 . 被試験機に対応する群の規制を設定する。</li> <li>8 . 移動局を一般移動局に設定する。</li> <li>9 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>10 . 被試験機に対応する群の規制を解除する。</li> <li>11 . 移動局の電源をオンにする。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局種別によらず、手順9において位置登録しないことを確認する。</li> <li>2 . 移動局種別によらず、手順11において位置登録することを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 7 : 一般移動局アクセス群規制 (移動局種別指定無し、発信)
試験概要	移動局種別指定が無い場合の、一般移動局に対するアクセス群規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 報知情報の規制情報を以下の様に設定する。</li> <li>2 . 自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。</li> <li>4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。</li> <li>5 . アクセス周期間隔を規制なしに設定する。</li> <li>6 . 一般移動局発信否に設定する。</li> <li>7 . 被試験機に対応する群の規制を設定する。</li> <li>8 . 移動局を一般移動局に設定する。</li> <li>9 . 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>10 . 被試験機に対応する群の規制を解除する。</li> <li>11 . 移動局から発信する。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局種別によらず、手順9において発信できないことを確認する。</li> <li>2 . 移動局種別によらず、手順11において発信できることを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 8 : 優先移動局アクセス規制 (移動局種別指定無し、位置登録)
試験概要	移動局種別指定が無い場合の、優先移動局に対するアクセス規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 報知情報の規制情報を以下の様に設定する。</li> <li>2 . 自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。</li> <li>4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。</li> <li>5 . 優先移動局位置登録否に設定する。</li> <li>6 . 移動局を優先移動局に設定する。</li> <li>7 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>8 . 優先移動局位置登録可に設定する。</li> <li>9 . 移動局の電源をオンにする。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局種別によらず、手順7において位置登録しないことを確認する。</li> <li>2 . 移動局種別によらず、手順9において位置登録することを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 9 : 優先移動局アクセス規制 (移動局種別指定無し、発信)
試験概要	移動局種別指定が無い場合の、優先移動局に対するアクセス規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 報知情報の規制情報を以下の様に設定する。</li> <li>2 . 自ゾーン選択可に設定する。</li> <li>3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。</li> <li>4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。</li> <li>5 . 優先移動局発信否に設定する。</li> <li>6 . 移動局を優先移動局に設定する。</li> <li>7 . 移動局から接続試験器に発信する。</li> <li>8 . 優先移動局発信可に設定する。</li> <li>9 . 移動局から接続試験器に発信する。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局種別によらず、手順7において発信できないことを確認する。</li> <li>2 . 移動局種別によらず、手順9において発信できることを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 7 - 1 0 : 自ゾーンアクセス規制
試験概要	自ゾーンアクセスが否の時、移動局が位置登録及び発信が行なえないことを確認する。
試験手順	1 . 接続試験器の報知情報を自ゾーンアクセス否に設定する。 2 . 移動局の電源をオンにし、発信する。
確認項目	1 . 移動局が位置登録しないことを確認する。 2 . 移動局が発信できないことを確認する。

試験項目	1 - 7 - 1 1 : アクセス周期規制 ( 位置登録 )
試験概要	アクセス周期規制 ( 位置登録 ) の確認を行なう。
試験手順	1 . 報知情報を以下の様に設定する。 2 . 自ゾーン選択可に設定する。 3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。 4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。 5 . アクセス周期間隔を 1 . 1 . 1 . 1 . ( 7 2 0 msec ) に設定する。 6 . 一般移動局位置登録規制有りに設定する。 7 . 被試験機に対応する群の規制を設定する。 8 . 移動局の電源をオンにする。 9 . 被試験機に対応する群の規制を解除する。
確認項目	1 . 手順 8 において位置登録しないことを確認する。 2 . 手順 9 において、移動局のアクセス周期タイムがタイムアウトする前に位置登録しないことを確認する。

試験項目	1 - 7 - 1 2 : アクセス周期規制 ( 発信 )
試験概要	アクセス周期規制 ( 発信 ) の確認を行なう。
試験手順	1 . 報知情報を以下の様に設定する。 2 . 自ゾーン選択可に設定する。 3 . 自ゾーンアクセス可に設定する。 4 . 自ゾーンアクセス規制有りに設定する。 5 . アクセス周期間隔を 1 . 1 . 1 . 1 . ( 7 2 0 msec ) に設定する。 6 . 一般移動局位置登録規制有りに設定する。 7 . 被試験機に対応する群の規制を設定する。 8 . 移動局の電源をオンにし、発信する。 9 . 被試験機に対応する群の規制を解除する。 1 0 . 移動局から発信する。
確認項目	1 . 手順 8 において発信できないことを確認する。 2 . 手順 1 0 において、移動局のアクセス周期タイムがタイムアウトする前に発信できないことを確認する。

## 2.3.2.8 パケット発信動作試験

試験項目	1-8-1：移動局発信-パケット通信登録
試験概要	移動局から接続試験器にパケット発信を行い、パケット通信状態になることを確認する。
試験手順	1. 移動局から接続試験器にパケット発信する。 2. パケット通信登録応答メッセージを受信する。
確認項目	1. 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1-8-2：移動局発信-パケット通信登録解除
試験概要	移動局から接続試験器にパケット発信を行い、パケット通信状態に入る前に移動局よりパケット通信登録解除が行えることを確認する。
試験手順	1. 移動局から接続試験器にパケット発信する。 2. パケット通信登録応答メッセージを受信する前に、パケット通信登録解除要求メッセージを送信する。
確認項目	1. 移動局のパケット発信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1-8-3：移動局発信-パケット通信登録拒否メッセージ受信
試験概要	移動局から接続試験器にパケット発信を行い、移動局がパケット通信登録拒否メッセージの受信により待ち受け状態に戻ることを確認する。
試験手順	1. 移動局から接続試験器にパケット発信する。 2. 接続試験器からパケット通信登録拒否メッセージを送信する。
確認項目	1. 移動局のパケット発信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

## 2.3.2.9 パケット着信動作試験

試験項目	1-9-1：移動局着信-パケット通信登録
試験概要	接続試験器から移動局にパケット着信をかけ、パケット通信状態になることを確認する。
試験手順	1. 接続試験器から移動局にパケット着信する。 2. パケット通信登録応答メッセージを受信する。
確認項目	1. 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1-9-2：移動局着信-パケット通信登録解除
試験概要	接続試験器から移動局にパケット着信をかけ、パケット通信状態に入る前に移動局よりパケット通信登録解除が行えることを確認する。
試験手順	1. 接続試験器から移動局にパケット着信する。 2. パケット通信登録応答メッセージを受信する前に、パケット通信登録解除要求メッセージを送信する。
確認項目	1. 移動局のパケット着信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 9 - 3 : 移動局着信 - パケット通信登録拒否メッセージ受信
試験概要	接続試験器から移動局にパケット着信をかけ、移動局がパケット通信登録拒否メッセージの受信により待ち受け状態に戻ることを確認する。
試験手順	1 . 接続試験器から移動局にパケット着信する。 2 . 接続試験器からパケット通信登録拒否メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局のパケット着信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

### 2.3.2.10 パケット通信終了動作試験

試験項目	1 - 10 - 1 : 通信 - パケット通信登録解除
試験概要	パケット通信状態の移動局からパケット通信終了が行えることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器にパケット発信する。 2 . 移動局からパケット通信登録解除要求メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局のパケット通信が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

試験項目	1 - 10 - 2 : 通信 - パケット通信切断
試験概要	パケット通信状態の移動局に接続試験器からパケット通信終了が行えること確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器にパケット発信する。 2 . 接続試験器からパケット通信切断メッセージを送信する。
確認項目	1 . 移動局のパケット通信が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。

### 2.3.2.11 パケット通信中動作試験

試験項目	1 - 11 - 1 : パケットシステム情報通知メッセージ受信 (端末登録エリアコード変更)
試験概要	接続試験器からパケット通信状態の移動局にパケットシステム情報通知メッセージ(端末登録エリアコード変更)を送信し、移動局からパケット通信登録が行えることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から接続試験器にパケット発信する。 2 . 接続試験器からパケットシステム情報通知メッセージを送信する。 3 . 移動局からパケット通信登録要求メッセージを送信する。
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1 - 1 1 - 2 : パケットシステム情報通知メッセージ受信 (呼出エリアコード変更)
試験概要	接続試験器からパケット通信状態の移動局にパケットシステム情報通知メッセージ(呼出エリアコード変更)を送信し、移動局からパケットチャネル登録が行えることを確認する。
試験手順	1. 移動局から接続試験器にパケット発信する。 2. 接続試験器からパケットシステム情報通知メッセージを送信する。 3. 移動局からパケットチャネル登録要求メッセージを送信する。
確認項目	1. 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	1 - 1 1 - 3 : パケット通信登録状態問い合わせメッセージ受信
試験概要	接続試験器からパケット通信状態の移動局にパケット通信登録状態問い合わせメッセージを送信し、移動局からパケット通信登録が行えること確認する。
試験手順	1. 移動局から接続試験器にパケット発信する。 2. 接続試験器からパケットシステム情報通知メッセージを送信する。 3. 移動局からパケット通信登録要求メッセージを送信する。
確認項目	1. 上記手順が動作することを確認する。

#### 2.3.2.12 パケット規制動作動作試験

試験項目	1 - 1 2 - 1 : 保守規制
試験概要	一般移動局及び優先移動局に対する保守規制を確認する。
試験手順	1. 移動局を一般移動局に設定する。 2. 接続試験器のチャネル規制情報を規制なしに設定する。 3. 移動局の電源をオンにする。 4. 移動局の電源をオフにする。 5. 接続試験器のチャネル規制情報を保守規制(保守規制なし・優先 100%規制・一般 100%規制)に設定する。 6. 移動局の電源をオンにする。 7. 移動局を優先移動局に設定し、手順2から6を繰り返す。
確認項目	1. 手順3においてパケット発信できることを確認する。 2. 手順6においてパケット発信できないことを確認する。

試験項目	1 - 1 2 - 2 : 優先規制
試験概要	一般移動局に対する優先規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局を一般移動局に設定する。</li> <li>2 . 接続試験器のチャンネル規制情報を規制なしに設定する。</li> <li>3 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>4 . 移動局の電源をオフにする。</li> <li>5 . 接続試験器のチャンネル規制情報を優先規制（保守規制なし・優先規制なし・一般100%規制）に設定する。</li> <li>6 . 移動局の電源をオンにする。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 手順3においてパケット発信できることを確認する。</li> <li>2 . 手順6においてパケット発信できないことを確認する。</li> </ol>

試験項目	1 - 1 2 - 3 : 一般規制
試験概要	一般移動局に対する規制を確認する。
試験手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 移動局を一般移動局に設定する。</li> <li>2 . 接続試験器のチャンネル規制情報を規制なしに設定する。</li> <li>3 . 移動局の電源をオンにする。</li> <li>4 . 移動局の電源をオフにする。</li> <li>5 . 接続試験器のチャンネル規制情報を優先規制（保守規制なし・優先規制なし・一般12.5% 100%規制）に設定する。</li> <li>6 . 移動局の電源をオンにする。</li> </ol>
確認項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 手順3においてパケット発信できることを確認する。</li> <li>2 . 手順6において規制情報と被試験移動局の一樣乱数Xの判定により規制一致する場合、パケット発信できないことを確認する。</li> </ol>

### 第3章 ネットワーク接続性確認試験

#### 3.1 試験の目的

ネットワーク接続性確認試験は、接続試験器による試験を終了した移動局を電気通信事業者がサービス提供を行なっているネットワークに接続し、サービスエリア内で発信、着信、位置登録、通話、終話等の基本的な機能を利用する場合に、移動局が正常に動作することを確認するためのものである。

#### 3.2 試験構成

ネットワーク接続性確認試験の構成例を図 3.1 に示す。

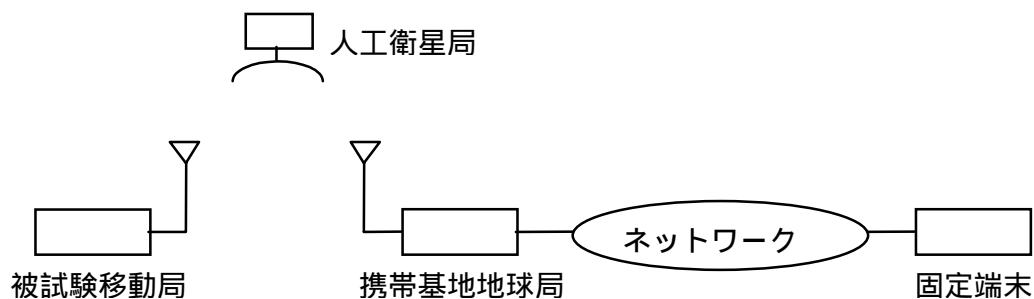


図 3.1 ネットワーク接続性確認試験の構成例

#### 3.3 ネットワーク接続性確認試験の実施

接続試験器による試験を終了した移動局を用いて電気通信事業者のネットワークで試験を実施する。

### 3.4 試験項目・試験条件の詳細

#### 3.4.1 試験項目一覧

ネットワーク接続性確認試験の試験項目は次の通りとする。

試験番号	試験項目
2 - 1	位置登録動作試験
2 - 1 - 1	位置登録
2 - 2	発呼動作試験
2 - 2 - 1	移動局発信 - 通話
2 - 2 - 2	移動局発信 - 移動局終話
2 - 2 - 3	移動局発信 - 被呼者ビジー
2 - 3	着呼動作試験
2 - 3 - 1	移動局着信 - 通話
2 - 4	終話動作試験
2 - 4 - 1	通話 - 移動局終話
2 - 4 - 2	通話 - 網側終話
2 - 5	パケット発信動作試験
2 - 5 - 1	移動局発信 - パケット通信
2 - 5 - 2	移動局発信 - 移動局パケット通信終了
2 - 6	パケット着信動作試験
2 - 6 - 1	移動局着信 - パケット通信
2 - 7	パケット通信終了動作試験
2 - 7 - 1	通信 - 移動局パケット通信終了

(注) 2 - 5以降の試験項目は ARIB STD-T49 2.0 版準拠移動機にのみ適用する。

#### 3.4.2 試験内容

ネットワーク接続性確認試験の内容は次の通りとする。

##### 3.4.2.1 位置登録動作試験

試験項目	2 - 1 - 1 : 位置登録
試験概要	電源投入時の位置登録動作を実行することを確認する。
試験手順	1 . 位置登録エリア A で移動局の電源をオンにする。 2 . 移動局に着信をかける。
確認項目	1 . 手順 2 において着信できることを確認する。

## 3.4.2.2 発呼動作試験

試験項目	2 - 2 - 1 : 移動局発信 - 通話
試験概要	移動局から網に発信を行ない、通話が行なえることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から網に発信する。 2 . リングバックトーン ( R B T ) を聴取する。 3 . 通話を行なう。
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	2 - 2 - 2 : 移動局発信 - 移動局終話
試験概要	移動局から網に発信を行ない、通話状態に入る前に移動局より終話が行なえることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から網に発信する。 2 . リングバックトーン ( R B T ) が発生する前に移動局から終話を行なう。
確認項目	1 . 移動局の発信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。
備考	待ち受け状態に戻ったことの確認は、着信をかけることにより行なう。

試験項目	2 - 2 - 3 : 移動局発信 - 被呼者ビジー
試験概要	移動局から発信を行ない、被呼者が通話中の場合に、移動局でビジートーン ( 話中音 ) を聴取できることを確認する。
試験手順	1 . 呼出先を通話中にする。 2 . 移動局から被呼者に発信する。 3 . 移動局でビジートーン ( 話中音 ) を聴取する。 4 . 移動局から終話を行なう。
確認項目	1 . ビジートーン ( 話中音 ) の発生を確認する。 2 . 終話後、移動局が待ち受け状態に戻ることを確認する。
備考	待ち受け状態に戻ったことの確認は、着信をかけることにより行なう。

## 3.4.2.3 着呼動作試験

試験項目	2 - 3 - 1 : 移動局着信 - 通話
試験概要	網から移動局に着信をかけ、通話が行なえることを確認する。
試験手順	1 . 網から移動局に着信をかける。 2 . 通話を行なう。
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

## 3.4.2.4 終話動作試験

試験項目	2 - 4 - 1 : 通話 - 移動局終話
試験概要	通話中に移動局から終話を行なえることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から網に発信する。 2 . 通話を行なう。 3 . 移動局から終話を行なう。
確認項目	1 . 移動局が待ち受け状態に戻ることを確認する。
備考	1 . 待ち受け状態に戻ったことの確認は、着信をかけることにより行なう。 2 . 移動局が VOX 機能を有する場合は、無音期間中の終話も行なう。

試験項目	2 - 4 - 2 : 通話 - 網側終話
試験概要	通話中に発呼者から終話を行なえることを確認する。
試験手順	1 . 網から移動局に着信をかける。 2 . 通話を行なう。 3 . 発呼者から終話を行なう。 4 . ビジートン（話中音）聴取後、移動局の終話を行なう。
確認項目	1 . 移動局が待ち受け状態に戻ることを確認する。
備考	1 . 待ち受け状態に戻ったことの確認は、着信をかけることにより行なう。 2 . 網側が無音期間中の終話も行なう。

## 3.4.2.5 パケット発信動作試験

試験項目	2 . 5 . 1 : 移動局発信 - パケット通信
試験概要	移動局から網にパケット発信を行い、パケット通信が行えることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から網にパケット発信する。 2 . パケット通信を行う。
確認項目	1 . 上記手順が動作することを確認する。

試験項目	2 . 5 . 2 : 移動局発信 - 移動局パケット通信終了
試験概要	移動局から網にパケット発信を行い、パケット通信状態に入る前に移動局よりパケット通信終了が行えることを確認する。
試験手順	1 . 移動局から網にパケット発信する。 2 . CONNECT 表示前に移動局からパケット通信終了を行う。
確認項目	1 . 移動局のパケット発信動作が終了し、待ち受け状態に戻ることを確認する。
参考	待ち受け状態に戻ったことの確認は、着信をかけることにより行う。

## 3.4.2.6 パケット着信動作試験

試験項目	2.6.1: 移動局着信 - パケット通信
試験概要	網から移動局にパケット着信をかけ、パケット通信が行えることを確認する。
試験手順	1. 網から移動局にパケット着信する。 2. パケット通信を行う。
確認項目	1. 上記手順が動作することを確認する。

## 3.4.2.7 パケット通信終了動作試験

試験項目	2.7.1: 通信 - 移動局パケット通信終了
試験概要	パケット通信状態の移動局からパケット通信終了が行えることを確認する。
試験手順	1. 移動局から網にパケット発信する。 2. パケット通信を行う。 3. 移動局からパケット通信終了を行う。
確認項目	1. 移動局が待ち受け状態に戻ることを確認する。
参考	待ち受け状態に戻ったことの確認は、着信をかけることにより行う。

## 2.0 版 改 定 履 歴

番号	ページ	2.0 版 改 定 履 歴
目-1		<u>2.3.2.8</u> パケット発信動作試験 <u>2.3.2.9</u> パケット着信動作試験 <u>2.3.2.10</u> パケット通信終了動作試験 <u>2.3.2.11</u> パケット通信中動作試験 <u>2.3.2.12</u> パケット規制動作試験 項目追加
目-2		<u>3.4.2.5</u> パケット発信動作試験 <u>3.4.2.6</u> パケット着信動作試験 <u>3.4.2.7</u> パケット通信終了動作試験 項目追加
2-1	3	2.3.1 試験項目一覧 注) <u>1 - 5 - 4</u> 連続通話試験(注1)  <u>1 - 8</u> パケット発信動作試験 <u>1 - 8 - 1</u> 移動局発信 パケット通信登録 <u>1 - 8 - 2</u> 移動局発信 パケット通信登録解除 <u>1 - 8 - 3</u> 移動局発信 パケット通信登録拒否メッセージ受信 <u>1 - 9</u> パケット着信動作試験 <u>1 - 9 - 1</u> 移動局着信 パケット通信登録 <u>1 - 9 - 2</u> 移動局着信 パケット通信登録解除 <u>1 - 9 - 3</u> 移動局着信 パケット通信登録拒否メッセージ受信 <u>1 - 10</u> パケット通信終了動作試験 <u>1 - 10 - 1</u> 通信 パケット通信登録解除 <u>1 - 10 - 2</u> 通信 パケット通信切断 <u>1 - 11</u> パケット通信中動作試験 <u>1 - 11 - 1</u> パケットシステム情報通知メッセージ受信(端末登録エリア コード変更) <u>1 - 11 - 2</u> パケットシステム情報通知メッセージ受信(呼出エリア コード変更) <u>1 - 11 - 3</u> パケット通信登録状態問い合わせメッセージ受信  <u>1 - 12</u> パケット規制動作試験 <u>1 - 12 - 1</u> 保守規制 <u>1 - 12 - 2</u> 優先規制 <u>1 - 12 - 3</u> 一般規制 項目追加  (注1)「端末設備として移動機に・・・・削除しないものとする。 (注2) 1 - 8 以降の試験項目は ARIB STD-T49 2.0 版準拠移動機にのみ適用する。

注 1) 改版後のページ及び項目等を示す。

注 2) “ — ” の部分は削除した部分を示す。

注 3) アンダーラインの箇所は追加した部分を示す。

注 4) 行数は特に断り書きのない限り、項目等の中の第何行目かを示す。

番号	ページ	2.0 版 改 定 履 歴
2-2	4	2.3.2 試験内容 <u>2.3.2.8 パケット発信動作試験</u> <u>2.3.2.9 パケット着信動作試験</u> <u>2.3.2.10 パケット通信終了動作試験</u> <u>2.3.2.11 パケット通信中動作試験</u> <u>2.3.2.12 パケット規制動作動作試験</u> 項目追加
3-1	21	3.4.1 試験項目一覧 <u>2 - 5                    パケット発信動作試験</u> 2 - 5 - 1        移動局発信   パケット通信 2 - 5 - 2        移動局発信   移動局パケット通信終了 <u>2 - 6                    パケット着信動作試験</u> 2 - 6 - 1        移動局着信   パケット通信 <u>2 - 7                    パケット通信終了動作試験</u> 2 - 7 - 1        通信   移動局パケット通信終了 項目追加 (注) 2 - 5 以降の試験項目は ARIB STD-T49 2.0 版準拠移動機にのみ適用する。
3-2	23	3.4.2 試験内容 <u>3.4.2.5 パケット発信動作試験</u> <u>3.4.2.6 パケット着信動作試験</u> <u>3.4.2.7 パケット通信終了動作試験</u> 項目追加

---

技 術 資 料  
ARIB TR-T4 2.0版  
Sバンドを用いる国内移動衛星通信システム  
移動機の接続性確認に係る  
試験項目・試験条件

---

平成 8年 4月 1.0版第 1 刷発行  
平成12年 3月 2.0版第 1 刷発行

発 行 所

社団法人 電 波 産 業 会  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1 - 4 - 1  
日土地ビル 1 4 階

電 話 03-5510-8590  
F A X 03-3592-1103

---